

新生ファミリーマートの 全店/全事業所で ISO14001：2015を 認証維持

この度、新生（株）ファミリーマートとして株式会社日本環境認証機構（JACO）の審査を経て、ISO14001の認証の維持が認められました。

ファミリーマート・サークルK・サンクスはそれぞれ統合前よりISO14001の認証を取得していましたが、今回の審査では、2015年版新規格への対応と、統合による組織の拡大が審査され、全国約18,000店の全店舗と全事業所が認証の対象となりました。



ISO 14001:2015 認証登録証の授与式の様子。
(株)JACO 立上社長（左）
(株)ファミリーマート CSR・コンプライアンス部長 玉川（右）

ファミリーマート・サークルK・サンクスの環境への取り組み

ファミリーマートは1998年より、サークルKサンクスは2001年よりそれぞれISO14001に基づく環境マネジメントシステムを推進し、全店舗・全事業所で継続的な環境改善に取り組んで参りました。

2016年9月の統合時に2015年版新規格への対応として環境方針や環境影響評価、推進体制、関連文章等を改定し、組織の拡大審査を受け2017年1月に認証を受けております。

ファミリーマート、サークルKサンクスのそれぞれの良い取り組みを取り入れ、18,000店の店舗で確実にPDCAサイクルを運用し環境負荷の低減をできるよう、全店舗の店長とストアスタッフに向けて、環境関連法規の説明や、店舗でできるCO2削減活動などを掲載した「eco&ソーシャルぱーとなー」を年3回発行し、活動の徹底と環境意識向上を図っています。また、点検ツールとして「ISO14001チェックカレンダー」をバックヤードに掲出し、ISO14001認証取得店舗として個店レベルでも環境目標の達成に努めています。

これからも人と環境にやさしく、楽しさと新鮮さにあふれた生活と夢のある社会の実現に向けて、持続可能な地域・社会の発展に貢献します。

ファミリーマートの取り組む 環境マネジメントシステム

